



## 1 TVで楽しく大学校紹介!



左から 松浦真紀先生、鈴木湖子アナウンサー、宮田八希先生

6月20日(金)、本学の宮田八希先生と松浦真紀先生が、行方市のなめがたエリアテレビ「なめテレ」に出演し、来年度開校する「県立情報テクノロジー大学校」の紹介を行いました。専門課程(2年)修了後に進学試験合格者等が応用課程(2年)で学ぶことができます。また、就職に強いなど5つの特色を紹介しました。経済産業省の調査では、2030年までにIT技術者が79万人不足するとの危機感もあり、本学の大学校化への期待が高まっています。

情報を学びたい高校生とその母親との会話にアドバイザーが助言するロールプレイを実施しました。具体的には、私立理系と本学との学費(右表)を比較しながら、アドバイザーが助言するものです。

母親役を演じた鈴木湖子アナウンサーは「私大に比べ大学校の学費は1/3で、家計も助かります」とホッとした様子で話していました。7月、8月に3回のオープンキャンパスを実施します。新校舎も建設中です。この機会にじっくりご覧ください。



撮影風景

	私立理系大学	情報テクノロジー大学校
受験料	3万円	1.8万円
入学金	28万円	12.7万円
授業料	110万円	39.3万円
施設料	10万円	-
2年目	120万円	39.3万円
3年目	120万円	39.3万円
4年目	120万円	39.3万円
合計	511万円	171.7万円
生活費	15万円/月仕送り 15万円×12ヶ月×4年 720万円	

1/3



## 2 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ>日経新聞(2025年5月17日)  
脳をゆっくりストレッチ

### ●橋浦和奏さん(水戸一高卒)

◇要約:人々は、新しい環境に馴染めるかで格差が生じる。適応期間は通常三ヶ月で、一ヶ月目は情報過多になり、二ヶ月目になると情報に優先度が付くようになる。

三ヶ月目になると先を見通せるようになる。疲労はしっかりと取ることが大切だ。  
◇感想:生物毎に適応期間を調べれば面白い論文が書けると思った。また、これを応用し、その生物が今どれくらいストレスを感じているかをコンピュータを使って導きだすことが出来れば、精度の高いヘルスアプリを作ることが出来そうだ。

### ●川尻恭矢さん(土浦三高卒)

◇感想:この大学に入って二ヶ月目になる。この記事に当てはめるなら情報に濃淡が付いてくる頃なんだろうと思う。

三ヶ月目の適応完了に向けて役割を把握していこうと思った。特に強い苦痛は感じていないのでこのまま様子を見ていこう。

### ●松崎俊祐さん(勝田工高卒)

◇感想:この環境に慣れるのに三ヶ月かかることを初めて知った。また、その慣れるにもただ慣れるのではなく、一ヶ月、二ヶ月、三ヶ月とひと月ごとに段階があることを知った。

体が慣れるのを補助するストレッチがあったので実践してみようと思った。

### ●吉成星空さん(中央高卒)

◇感想:私もIT短大に入学して一ヶ月になるが、いまだ朝が辛いことや、勉強する習慣が身に付いていない。

これからはより時間に気を付けて行動したり、毎日の学びを振り返り復習し、過去問道場を行う習慣を身に付けていきたいと思う。

### ●川井統真さん(常磐大高卒)

◇感想:自分も新しい環境になると、最初は凄く疲れてしまうことが多いので共感した。

この記事にあるように、ゆっくり環境に慣れていくことを意識しようと思った。また、人に相談することも大切にしたいと思った。

